

風まち・潮まち・港町

みたらいま

●御手洗ものがたり
フィッセルの見た「日本」
ニッポン

●御手洗のお盆リポート
特集「御手洗の盆踊り」

●昭和初期のハイカラ建築・乙女座復元
あの乙女座がよみがえる!

●ゆたかまち句集
「島の夏」

●ゆたかまちの味じまん
底びき網漁体験と船上バーベキュー
「エビこぎ漁」

御手洗に「みたらいま」が戻ってきた。
—乙女座復活・こけら落としを祝う住民たち—



豊町商工会

尚

みたらい通志

2002.9. No.10

今春4月、乙女座が復元され、御手洗の魅力がまたひとつ増えました。そしてこの9月には、念願だった琉球舞踊団の御手洗公演が乙女座にて開催されます。江戸時代から時を超えた琉球と御手洗の交流が平成の今再び甦るまたとないチャンスです。みなさま、ふるってご来場ください。

(豊町商工会会長 村尾征之)



(写真上) 御手洗の盆踊り。太鼓と口説節だけのシンプルな盆踊りは昔のまま。
(写真中) 復元された乙女座の外観。
昭和初期のハイカラ建築が生き返った。
(写真下) 豊町名物「エビこぎ漁」の船上バーベキューでは、クルマエビをはじめ新鮮な魚介類が食べられる。

【表紙の写真】

平成14年4月14日、かつて劇場や映画館として賑わった乙女座が復元された。当日のこけら落としでは終日、町民による芝居と唄・踊りが続き、200人近くに埋まった客席からは40年ぶりに笑いと喝さいがあふれた。(写真提供:中国新聞社)



御手洗ものがたり 10

ニッポン

フィッツセルの見た「日本」

江戸時代、御手洗に立ち寄りた外国人、シーボルト、ケンペルと並んで有名なフィッツセルを紹介する。



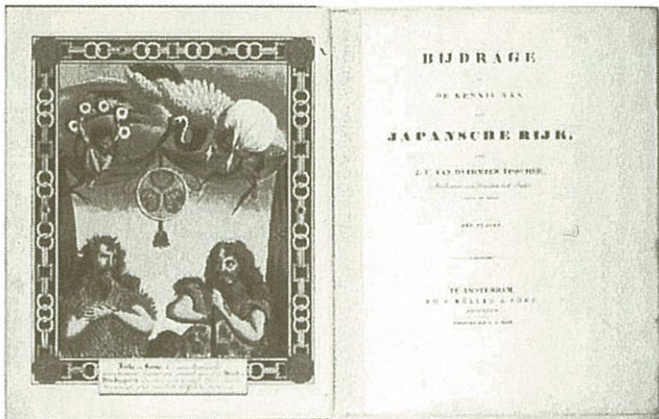
同著の中の扉絵、普段着の日本婦人。それにしても絵が上手い。これらはフィッツセルの専属画家として江戸参府に同行した川原慶賀の作と思われる。

ことごとく頭を垂れて厳粛に一行を迎えてくれたことに感動した。

本書はわが国の国土・風俗・宗教・学芸などを述べてこれをヨーロッパ人に紹介したものである。各章のはじめにはわが国の風俗を示す銅板の挿絵が載せられている。そして、挿絵には、その周囲に図案化した漢字が配されていて、挿絵として特異であるばかりでなく、挿絵そのものは毛筆で丹念に彩色されているという手の込んだものである。この原本は現在国立国会図書館に所蔵されている。

フィッツセルの紀行文中御手洗に関する部分は豊町史の資料編一五一ページに掲載されている。

(長濱要悟)



一八三三年(天保四)アムステルダムで刊行された「日本国の知識に対する寄与」の著者、フォン・オーフェルメル・フィッツセルは一八二〇年(文政三)一等社員として長崎出島のオランダ商館に来た。長崎に九年間勤務し、一八二九年(文政十二)の秋にわが国を去っていったオランダ人である。この間、彼は書記・荷倉役に昇進し、一八二二年(文政五)には商館長プロムホフに随って江戸に参府したこともあった。この途上御手洗に上陸し、日本の宴会に列席した。そして芸妓が演奏する三味線を聞いたがあまり感心しなかった。それよりも、一片の埃すらないほど道路は美しく清掃され、行き交う人々が

オーフェルメル・フィッツセル著「日本国の知識に対する寄与」(アムステルダム1833年刊)
本書の構成は12章からなり、第1章は序論として過去において日本に滞在したことのあるケンペル、トゥーンベリ、メイランなどの作品にふれ、以下日本の政治・地理・言語・伝説・娯楽・動植物などについて記されている。本書の内容は、構成上シーボルトの大著「日本」に比較的似ているが、記述は極めて簡単でその挿絵もわかりやすく、一般向きの「日本案内記」といえる。



これは同著の中で日本の地理と国情を述べた章の扉絵。富士山を背景に日本地図が書いてあり、琉球や竹島も描かれている。各章のはじめにはこのような挿絵を入れており、当時のヨーロッパの人々の日本に対する関心を一層高めさせた。



※江戸参府旅行
長崎(出島)に閉じ込められたオランダ商館員にとつて、献上品を携え將軍に謁見するための江戸参府は、長崎以外の日本を見る数少ない機会であると同時に、日本の物品を収集する最良の機会でもあった。

「特集」変わらない魅力

御手洗の盆踊り。

8月14日・15日の夜、ふるさと学園のグラウンドにて

今年も御手洗の盆踊りが行われた。※あらぼん新盆供養が終わる8時半。

町内会長の「先祖との話し合いをしながら盆踊りをしましょう」という発声で恒例の盆踊りがスタートする。



やぐらを中心に町内の人が輪になって踊る御手洗の盆踊り。やぐらの紅白幕には「昭和六年御手洗尋常小学校卒業生一同」とある。ふるさと学園は御手洗小学校(昭和47年閉校)だった。



御手洗の盆踊りの提灯。シンプルな明りだが情緒がある。星梅鉢の紋が入ったものと三つ巴と2種類ある。

※新盆(あらぼん)
前年の盆からその年の盆直前に亡くなった家の盆行事。新盆(にいぼん)、初盆(はつぼん)とも呼ばれる。新盆を迎える家族はこの日ばかりは遠くへいても帰ってきて踊りの行列に参加する。

(太鼓) ドンドドン、ドンドドン
(口説) 下で九州筑前の国

善と悪との二つの道で
善となるのは乏しき者よ

(合の手) やつとこせ、やつとせ、
ちよい、ちよいとこさ

やぐらの上には太鼓打ち一人、口説三人。BGMは太鼓と口説節(浄瑠璃)だけという至ってシンプルなもの。そのやぐらを中心にみんな輪になり、踊りながら回る、輪踊りのスタイル。昔からこのスタイルは変わっていない。「近頃は10時までとか時間が決まっているけど、私らの若い頃はえびすさんで夜中の12時過ぎまで踊ってたんよ」と今崎律子さん(67才)。港の道路ができる前は恵美須神社の境内で行われていたそうだ。「明日は同窓会。お盆は懐かしい顔が見れて楽しみです。浴衣を着て踊ろうかと思っただけど今年は役員なので服にしました。でもずーっと踊りましたよ」と村井鈴子さん(56才)。

今年、新盆だというご婦人(30代)は「昨年は父、今年は祖母の新盆でみなさんに供養してもらい、はじめて、この年になって盆踊りの意味がわかった気がします。だから今年は思い切って家族全員、浴衣を着て久し振りに踊ったんですよ」。盆踊りはただ踊るといっただけでなく、先祖供養、新盆供養を地域の人々がみんなで一緒になって行うという意味合いが強い。単調なりズムと振りつけは、派手さはないが、歴史の町御手洗ならではのしみじみとした余韻を感じさせてくれる。不思議なことに御手洗の盆踊りに関する文献資料はほとんど残っていないのだが、昔からこのスタイルはずっと変わらず受け継がれている。



今年是新盆なので家族揃って浴衣を着て参加したという田阪さん一家。やはり盆踊りには浴衣姿がいちばん似合う。

やぐらの上には太鼓打ち1人、口説3人。それぞ
れ交替しながらえんえんと続いていく。しかしなが
ら14日の夜は突然の雨で途中で中止となった。



右／帰省した越智恵美さん、25才（広島市在住）
「祖母が亡くなって、新盆なので、今年は久し振りに踊りました。不思議ですね、体が自然に動くんですよ。子どもの頃から踊ってたからかなあ」
左／帰省した松浦美紀子さん、26才（広島市在住）
「うちも祖母の新盆です。子どもの頃は大東寺で子どもだけでテープをかけて踊ったこともありましたが」

みたらいの 盆踊り 解

（しおーでー
きわーしーら
ちくぜーのーく！）

盆踊り会場
やぐらを中心に
右回りに回る

①
そりやー
ハッヒセーエ
サッヒセ
うちわをオビに
さし、進行方向に
向って歩く

②
ちよー
ちよー
ちよーヒセ
やぐらの方に
体を向け
手をたたく

③
ハッヒセーエ
サッヒセ
大きく右手を
上げ、右足を
前に出す

④
ハッヒセーエ
サッヒセ
次は左手を
大きく上げ、
右足に左足を
そろえる

⑤
ハッヒセーエ
サッヒセ
進行方向に
体を回転させ
今度は右手を
上げる

⑥
ちよー
ちよー
ちよーヒセ
両手の人さし指
を進行方向に
向け、右足の
かかと上げる

乙女座復活記念
町民演芸会2002



昭和初期のハイカラ建築・乙女座復元

まの乙女座がよみがえる!

平成14年4月

創業時と同じように化粧直しされた乙女座。



乙女座プロフィール

昭和12年、御手洗には劇場がなく民衆の娯楽施設に乏しかったことから当時の町長靱田稔氏が乙女座の建設を企画。その建物は建築の粋を集めたモダン劇場として町の中でも一際目立った。戦後は昭和30年代まで映画館として利用され、その後は選果場に。近年は空き家となっていたが、住民の要望によりこのたびの復元が実現した。

40年ぶりに笑いと喝さい!

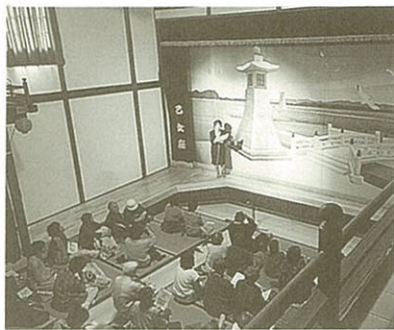
乙女座彩るこけら落とし公演

港近くに建つ近代建築の洋館、かつて劇場や映画館として賑わい広く町民に親しまれてきた「乙女座」が、今年の春ついに復元完成した。

平成14年4月14日こけら落としを祝って住民およそ60人が芝居や踊りを熱演、200人近くの人々が埋まった客席は40年ぶりの笑いと拍手喝さいに包まれた。プログラムは13演目。女性会的主婦らが三味線と唄に合わせて踊る御手洗節や、子供会の児童と園児たちによるダンスと縦笛の合奏、随所に織り込まれた舞踊ではおひねりも飛んだ。謡曲、銭太鼓、民謡、三味線、雅楽と多彩な演芸が披露され、締めめの芝居は御手洗の歴史をもとに創作した、遊女と若者の悲恋物語「おちよる哀し! 風待ちの女」。ユーモアも交じった劇に観客からは笑いや拍手が湧いた。最後はヤグラ音頭で3時間にわたる熱い競演の幕を閉じた。



乙女座の出番を終えた子どもたち。乙女座ウラに併設された江戸みなとまち展示館の前で記念写真。



2階席から見る乙女座の舞台。内部も創業時とまったく同じに復元。高どうろうが描かれたどん帳は見事。

当日のとりを飾ったのは町民の手による夢芝居「おちよる哀し! 風待ちの女」。脚本・演出は橋本弘一さん。悲しい物語なのになぜかはじめから笑いつばなし、大ウケであった。



(写真提供:中国新聞社)



当日の復活記念こけら落とし町民演芸会のポスター。昭和12年のオープンの際にも芝居等が行われた。

中も外も
あの頃ののまま
見事な佇まいです



「御手洗の見どころがまたひとつ増えました。まちづくりに活用し、往時の賑わいを再現したいですね。」と御手洗町内会の今崎仙也会長。



空に囀^{さえず}る鳥の声、
峰より落^おつる瀧の音。
天然の美の音楽が流れて来ます。あ、
活動がふれて来た。飛んで外に出てみ
ると、丁度加藤の表で、ドドン ドン
ドン。先頭は幟をもったおっさん。次
に大きな太鼓は二人でかついでいまし
た。それに蝶ネクタイの兄ちゃんが三、
四人トランペットと云うのか、サキソ
ホンと云うのかちいさいラッパや、ア
コーデオンを持った楽士が続いていま
す。背広姿など見ることもない時代な
ので、とてもしゃれて見えました。
東西、東西、ドドン、ドンドン。本日

活動写真が来た！

鳥取市 伊藤静恵

幼い頃を御手洗で過ごした
伊藤(旧姓正岡)静恵さんから
届いた乙女座を懐かしむ
お手紙をご紹介します。



復元前の乙女座。キズだらけの外壁だったが、かろうじて当時のモダンな姿は残っていた。但し、「乙女座」の文字は消えていた。



当時乙女座上映された映画のポスターやチラシ。鞆田家の押し入れの中で大切に保存されていた。



上映前の呼び込み、宣伝に使われていたでんでん太鼓。

御覧にきょうしまするは、切狂言、切
狂言と致しましては、市川百々之助主
演、め組の喧嘩、め組の喧嘩。
ドドン、ドンドン
新派大悲劇と致しましては栗島すみ子
主演、不如帰、不如帰を上演致しま
す。ご近所お誘い合わせの上、早々の
ご来場のほど一重にお待ち申し上げ
ております。ドドン、ドンドンとまあ
こんな具合です。
菊吉を過ぎて田丈のあたりか隊伍を整
えて、パッパ、パッパ、パッパパー



当時の乙女座のステージの前にて。

(天然の美)のメロデーとおおらを過
ぎて海沿いも道を、まめの坂を越えて
大長の村の中へとふれて行くのです。
乙女座のあたりにテント張りの小屋が
出ていますが、それより前は弁天さ
んの横の土井吉の前あたりでも興業し
ていたと記憶しています。
母の実家の加藤は、祖母さんはじめ皆
ちよつとのぼせ気、活動、芝居、大
好きでしたが、父の方は、大時代な事
を云うので、母は仲々見物に行きにく
いのです。本家の母さんが気をつかっ
て、近所の人に、ちいさんを誘ってあ
げてなあと頼んでいました。
私が小屋の前でうろうろしていると、
「いけふで」のおっさんが木戸のとこ
ろにおつて、手まねきして入れてくれ
ました。
まだ母が元気な時ですから、私も小学
校へ上がる前だったでしょうか。

「潮待ち館だより」
平成14年如月号より一部抜粋

俳句・和歌を募集中!

みなさまからの俳句、和歌を常時募集しています。

豊町に限らず、テーマは自由。

たくさんのお投稿をお待ちしております。

[あて先]

〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗

豊町商工会「ゆたかまち句集」係まで

ゆたかまち句集

十

島の夏

渡舟にてはや帰省子の島なまり 葉鳩

夏休島は一拳に子の舞台 葉鳩

腕白のポケットに啼く油蝉 美恵

神木の襪より湧きて蝉しぐれ 宣子

水一杓二杓極暑の禿墓 道女

炎昼の緋の目と合う船だまり 清水

夕映にゆるゆると解く蛇の渦 幸子

殻を脱ぐ蝉も清らに月の枝 和子

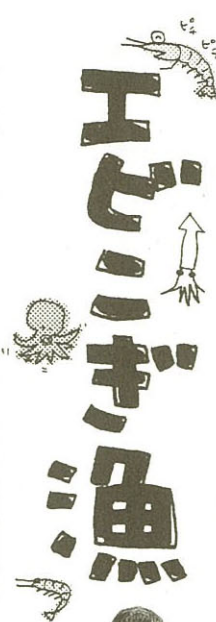
晩夏光楠一葉ごと影つくり 恵美子

夏帽子置き忘れし終便船 梅月

ゆたかまちの味じまん ⑩

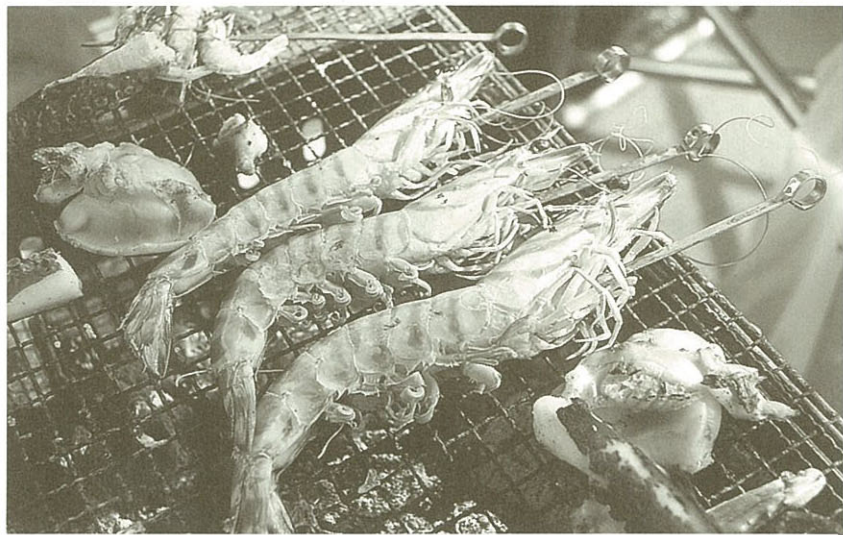
底びき網漁体験と船上バーベキュー

エビこぎ漁



新鮮で
おいしい！

「自分が捕った魚をおいしいとみんなに食べてもらう喜びは最高」と漁師の二川憲三さん（55才）。他にも漁師は8人ぐらいいる。



こんな特大のクルマエビが網にのることもある。とにかく、めちゃうくちやおいしー！船上バーベキューならではの至福の喜び。人生観が変わりそう！他にもタコ、イカ、地エビ、ワタリガニと種類も豊富。もちろんすべて天然モノ。



とれたての魚を囲んで船上バーベキューで盛り上がる。漁師との話らいもまた楽し。



とれたてなので、そのまま皮をむいて、躍り食いが楽しめる。あまりの美味しさに、思わず小躍りしたくなる。

人生観が変わる美味しさ、ぜひお試しを！

「豊町に来たけど魚料理のおいしいお店はないか？」「新鮮な魚介類を使った名物料理はないか？」観光客によく聞かれるこの台詞。せつかく船に乗って瀬戸内海のへソ、大崎下島豊町に来たからには新鮮でおいしい魚をたらふく食べたい！観光客でなくても誰もが思うこと。そこで今回おすすめするのが、豊町名物「エビこぎ漁」。要するに底びき網漁なのだが、クルマエビ、地エビの他、真鯛、ワタリガニ、アゴ、真ダコ、イカ、ギザミなど、1時間ぐらいの漁でいろんな魚が捕れる。この「エビこぎ漁」は実際に地元の漁師の船に乗り、底びき網漁を体験して、その場でとれたての魚介類を船上バーベキューで食べてもらおうという、ダイナミックな(?)観光企画。もちろん食べ放題で帰りには捕れたて魚介類のおみやげ付き。エビこぎ漁の世話役の須賀譲さんは「御手洗で観光をしてもらい、エビこぎ漁で新鮮なエビを食べてもらい、泊まってもらう...これが理想。この島に島外の人がいっぱい来て欲しい！」と豊町名物「エビこぎ漁」への思いを熱く語る。



エビこぎ漁はゆたか海の駅がある小長港から出航する。船にはトイレも付いているので安心。



エビこぎ漁の予約・問い合わせはゆたか海の駅ホテルまで。TEL08466-7-2250 料金は1組8名様まで5万円。18:00~23:00(時間変更可)お得な宿泊セットプランもある。



わたがまちなんでも伝言板



●9月7日(土)午後3時開演 琉球舞踊団が乙女座にやってくる!



優美な琉球舞踊は王朝文化が肌で感じられる伝統芸能。当日は御手洗女性会による「御手洗節」も披露される。

●御手洗文化交流施設

江戸みなとまち展示館がオープン!

この9月、御手洗地区にまたひとつ新名所がオープンします。その名も「江戸みなとまち展示館」。江戸時代の港町「御手洗」はどうして誕生したか、どんな町だったのか、なぜここまで繁栄したのか。「交流」をコンセプトに「交易」「交遊」「交歓」という3つのテーマで御手洗を紹介する展示施設です。隣接する乙女座とともに「御手洗文化交流施設」として誕生します。尚、これらには有料施設となりますので、入館料が必要となります。(但し、江戸みなとまち展示館1階は無料)

●お問い合わせ／豊町教育委員会
TEL 0846662111



御手洗棧橋より歩いて1分。海岸通りにオープンする江戸みなとまち展示館。1階は御手洗観光者の無料休憩コーナーとなる。

- 御手洗文化交流施設利用案内
- 施設内容／江戸みなとまち展示館・乙女座2つの複合施設
- 開館時間／午前10時～午後4時
- 休館日／毎週月曜日(祭日の場合は翌日)、12月28日～1月3日
- 入館料／般100円(団体80円)、小学生～高校生50円(団体40円)
- ※団体は20名以上。障害者手帳をお持ちの方は無料。

9月7日(土)、はるばる沖縄から御手洗の乙女座へと琉球舞踊団がやって来ます。琉球舞踊とは、中国の国宝をもてなす歓迎の宴から生まれ、江戸上りで能・歌舞伎の影響を受けて確立された華やかな舞踊です。その昔、琉球使節団が江戸上りの際に御手洗へと立ち寄った縁から、今回の琉球王朝と御手洗の芸能交流会が実現しました。みなさまお誘い合わせの上ぜひご来場ください。

●お問い合わせ／潮待ち館
TEL 0846672278

SETOUCHI OSANPO CRUISE
せとうちおさんぽクルーズ
9月20日
▼
11月23日
毎週金・土曜日

「せとうちおさんぽクルーズ」がスタート!

今秋、瀬戸内海の7つの島を結ぶ高速船「せとうちおさんぽクルーズ」が出航します。周遊エリアは下蒲刈島、上蒲刈島、大崎下島、大崎上島、大三島、大久野島、生口島。期間は9月20～11月23日までの毎週金・土で、2日間乗り降り自由なバスポートを大人5,000円、小人2,500円で発行。島々をめぐる瀬戸の秋を満喫しましょう。

●お問い合わせ／瀬戸内海汽船
TEL 082125311212



宮島・広島方面からの西ルートと三原・尾道方面からの東ルートがあり、瀬戸内海を周遊。



おたより

読者の広場

たくさんのお便りありがとうございます。
「みたらい通志」の感想や、
豊町を訪れた感想・豊町への希望なども
お便りください。お待ちしております。

■…読者からのお便り

★…編集室からのお返事 (今回はNが担当)

■俳句をしております。本日はじめて御手洗へ行きました。木村さんにご案内していただいた「みたらい通志」はやさしい、あたたかい誌面でやすらぎます。

■絵はがきセットをお送り下さりありがとうございます。次回は百手神事と、先日見逃した七脚落遺跡へ行ってみたいと思います。取り急ぎお礼まで。(亀井朝子・64歳・広島市)

★百手神事も大変珍しいのですが、この大長の宇津神社では毎年春と秋に「神衣祭り」(かむいぞまつり)通称おきぬがえという祭りがあります。夜中の一時からおこなわれます。とても厳肅なあまり余所では見られないものです。ぜひ一度どうぞ。

■「おもしろ新名所」の様々な見出しはついで、出かけて確かめたくなる面白さがあります。路上観察だけでなく、足元観察や頭上観察も楽しめそうですね。また、栈橋の景色を肴に「鍋焼きうどん」とビールというのも洒落ていますね。ぜひ、6月下旬に徒歩で三脚を左肩に、江戸からつながら、豊かな時間を楽しみに出かけます。

(本田敦邦・38歳・愛媛県)

★「旅の人」が見た「おもしろ新名所」があったらぜひお知らせください。もちろん、路上、足元、頭上、上空、一切の制限はございません。

■祖父の家ではじめて読みました。久比の豆腐がとてもおいしそうでした。今度、母と行くかと約束しました。(河野明日香・24歳・兵庫県)

★この、久比の豆腐屋さんを作っている厚揚げがとても美味しいんです。

■長い間仕事の関係でいろいろな土地を回って来ました。やっと定年を迎え落着く事が出来、俳句の友達と二人で先日御手洗を訪ね、ボランテアの方に三時間あまり案内をして頂きました。花みかんの香りを少し嗅げる事が出来、又歴史のある町並を歩きながら、季節の節々に又何って美味いみかんジュースを戴きたいです。

(富永美佐子・64歳・広島市)

★5月の連休の頃島に泊まってみてください。山からの下降気流に乗って花みかんの香りが家の中まで入りこみ、まさに、家ごとアロマセラピーの世界です。

■広島平和公園内のレストハウスで「みたらい通志」を手にしました。毎年全島がミカンの花の香りで一杯になる頃暮参に訪れています。今年は「みはらし食堂」に寄ってみようと思っています。

(岡崎日出子・66歳・広島市)

★「みはらし食堂」の「鍋焼きうどん」は絶品です。一度お試しあれ。

少しでも歩けば直ぐに見つかりますが、道を開くにも人に出合わず、丁度食事に行くと言った役場の人に道案内をして貰い、とても良い案内で色々な事が出てきました。ホッと致しました。簡単に考えた私達です。食事のあとタクシード移動出来るものと思っていました。島の状況を良くわかっています。又、私達は少し街の生活に横着になりました。手違いでガイドの予約が入っていないと云われましたけど、親切にガイドを申し出て下さり、冷たい麦茶がともおいしく、衣服の清涼剤になりました。一巡して戻り、冷たい飲物を頂き、安堵致しました。良い人達にめぐり逢い、帰りは「やはり来て良かったね」と一同満足致しました。暑い中を長時間のガイドをありがとう御座居ました。人の良さが心に残り、思い出のページになりました。街では感じられない良さに日頃のストレスを海に流して帰りました。

(呉市の三人の中年女性より)

★私もではいま「町民みなガイド」といって、特定の人が、せめて自分の家の近所の名所旧跡ぐらゐは旅の人に説明できるようにしましょう、という運動をおこなっています。だからいろいろ勉強もしています。でも、一番の勉強はお客様から声をかけていただいたり、質問をしていただくことです。どうぞ、この次いらしたときも、ドシドシ声をかけ、ふれあいをお楽しめてください。

しみくください。

■連休中に御手洗を歩いて「みたらい通志」を手に入れました。昔の街並の良さと、住んでいる人々の暖かさやふれることが出来ました。皆さんやさしい方々ばかり。歩いてみないと良さはわかりませんね。ありがとうございます。

(高畦八重子・47歳・尾道市)

★たしかに御手洗には徒歩が似合いますね。「歩くリズムが御手洗のリズム」ということなんでしょうね。



▲高畦さんから届いた絵手紙

編集後記

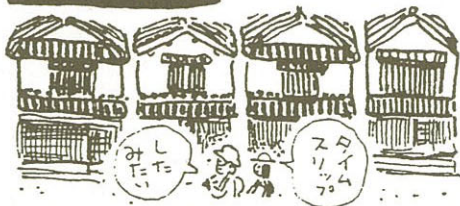
自然や山や海も「ふるさと」ではあるけど、でもやっぱりふるさとって思い出すのは「祭り」や「盆踊り」ではないだろうか。夜がふけてもおおっぴらに遊べて、普段より少しだけ大目にお小遣いも持っていて、女の子は浴衣なんかも着せてもらって、それを見た男の子がちょっとドキッとしたりして。昔ほどにぎやかではなくなりましたが、盆踊りですが、でもまだまだ頑張っ続けています。来年はぜひふるさとのお盆をお楽しめてください。

(N)



えど まちな

江戸の町並み



MITARAI
since 1666

- 寛文 6年(1666) 町屋敷割りを藩より許され、人家が建ちはじめる
- 正徳 3年(1713) 町年寄り(大長村の統轄下)が置かれる
- 宝暦 9年(1759) 常盤町を中心とした大火(11月)
- 文化 3年(1806) 伊能忠敬が御手洗を測量した(3月1~3日)
- 5年(1808) 町屋敷が独自に置かれる(初代柴屋)
- 文政 9年(1826) シーボルトが寄港する
- 11年(1828) 千砂子波止の築造(11~12年)
- 11~13年 住吉神社造営(大坂 鴻池善右衛門寄進)
- (1828~30) ※千砂子波止の築造以後、住吉町の埋立てが進んだ
- 嘉永 6年(1853) 吉田松陰が長崎行き途中に立ち寄る
- 元治 1年(1864) 三条実美ら五卿が多田勘右衛門宅(竹原屋)に奇遇する(7月22日~24日)
- 明治12年(1879) 御手洗町が大長村より独立
- 昭和31年(1956) 1町2村合併して豊町となる
- 平成 6年(1994) 国選定 重要伝統的建造物群保存地区となる

プレゼント コーナー

ゆたか海の駅ホテル

ペア宿泊券...1組さまに!

(1泊2食付・ツインルーム)



ゆたか海の駅ホテル



洋室ツイン

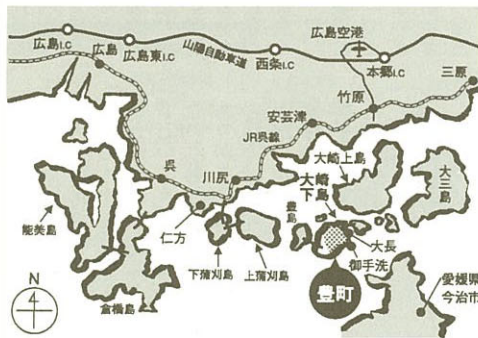
大崎下島、御手洗観光の拠点として人気の高い「ゆたか海の駅ホテル」。ヨットハーバーを望むゆったりとしたツインルーム(バス・トイレ付)で瀬戸内海の旅を満喫してください。

■応募方法/ハガキに「ゆたか海の駅ホテルペア宿泊券希望」と書いて、住所・氏名・年齢・職業・電話番号、そして「みたらい通志」に対するご意見、ご感想をお書き添えのうえ、下記までお寄せください。抽選で1組様にプレゼントいたします。当選は発送により発表にかえさせていただきます。

■あて先/〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗 豊町商工会「みたらい通志」プレゼント係

■締め切り/平成14年12月31日(当日消印有効)

豊町(御手洗)への交通のご案内



- 今治から大長まで...高速艇で30分
- 竹原から大長まで...高速艇で40分
- 仁方から大長まで...高速艇で40分
- 三原から大長まで...高速艇で1時間
- 呉から大長まで...高速艇で1時間
- 広島から大長まで...高速艇で1時間25分(または)高速バスと高速艇で約2時間
- 広島空港から大長まで...ジャンボタクシーと高速艇で約1時間30分
- 大長から御手洗まで...バスで3分(または)徒歩15分
- 大長から久比まで...バスで約10分(または)レンタサイクルで20分
- 大長から沖友まで...バスで10分(または)レンタサイクルで25分



観光案内(観光の問合わせ・ガイド申込等)

■潮待ち館・観光交流センター

TEL・FAX 08466-7-2278